

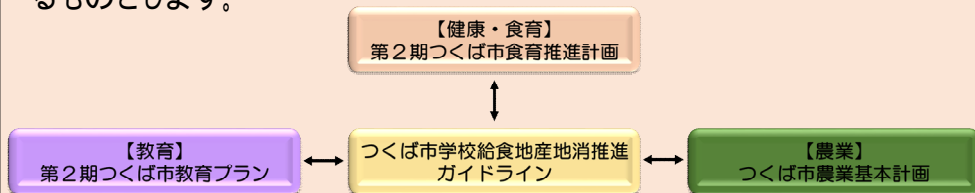
つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン（概要版）

ガイドライン策定の趣旨

食べ物の大切さや生産者への感謝等、子どもたちの食育において重要な役割を担っている学校給食で地産地消を今後より一層推進します。数値目標の達成に向け、関係機関・団体等との連携を強化するとともに、つくばならではの独自取組を盛り込むなど施策の更なる展開を活性化します。

ガイドラインの位置づけ

本ガイドラインは、「第2期つくば市教育プラン」や「つくば市農業基本計画」、「第2期つくば市食育推進計画」等の関連計画との整合性を図るものとしてします。



これまでの取組と課題

< 取組 >

- 1 地産地消推進会議の開催（不定期）
学校給食の地産地消における課題の洗い出しや協議、契約取引の試行、及び本ガイドラインの内容検討等を行いました。
- 2 契約取引の試験的实施
2017年12月から2018年1月の2か月間にんじん・長ねぎの2品目について、JA つくば市及びJAつくば市谷田部と、契約取引を試験的に実施しました。
- 3 つくば市民の日メニューの実施
11月30日の「つくば市民の日」に合わせて、市内産の食材を多く使用したつくば市民の日メニューを提供しています。また、市内小中学校に生産者をゲストティーチャーに招いて、地産地消に関する食育授業も実施しています。

指標と年限（目標値設定）

< 指標 >

このガイドラインで用いる地産地消率は、学校給食の献立に使用した食品のうち、つくば市で生産・収穫された食品数の割合（品目数ベース）と定義します。

現状値（平成30年度）

市内全体

つくば市産	茨城県産
16.1%	38.7%

各学校給食センター

	つくば市産	茨城県産
大穂学校給食センター	20.3%	42.0%
つくばすこやか 給食センター豊里	16.5%	40.5%
桜学校給食センター	13.6%	34.3%
茎崎学校給食センター	13.8%	39.6%
筑波学校給食センター	19.5%	44.8%

< 年限 >

取組実施期間 令和元年度から令和5年度までの5年間



目標値設定年度 令和3年度当初

目標値は、各取組の進捗状況を見極めた上で、本ガイドラインの中間年度（令和3年度）に設定することとします。



< 課題 >

- 1 納入業者数
JAでの納入品目が少ない月には、地場産物がほぼ使用できないような状態です。したがって、農業法人や地域の生産組合等とも納入の可能性を協議していく必要があります。
- 2 品目数
学校給食に提供できる量の地場産物の確保が難しく、品目数が限定されてしまいます。
- 3 地場産野菜の計上手法
- 4 関係者の意思疎通
地場産物生産者、栄養士、調理員等の関係者による意思疎通の機会を設け、給食での地場産物使用について、生産者の理解を高める必要があります。



1 地場産物を安定的に学校給食に供給できる体制をつくります。

-  生産者から提供された生産スケジュールを参考に、献立作成を行います。
- 生産者に**地場産物年間使用計画**を前年度末に提示します。
- 納入食材の規格について生産者に分かりやすいよう説明します。
-  地場産物の生産スケジュールを各学校給食センターに提供します。
- 市の地場産物年間使用計画を活用し、計画的な作付けを行います。
- 「つくば市学校給食食材納入仕様書」に記載されている規格を理解し、より品質の良い地場産物の納入に努めます。



2 学校給食における地場産物の利用拡大をはかります。

-  月に1回、各学校給食センターにおいて「**つくば地産地消の日**」と題して地場産物を多く使用した献立を提供します。
- 学校給食のPR活動を行い、新規参入生産者の掘り起こしを行います。
- 新たな地場産物加工品等を生産者・納入業者と共同で企画し、使用を推進します。
-  **冷凍・冷蔵貯蔵やカット野菜等の加工品開発**を積極的に行い、地場産物を通年安定して納入できるよう取り組みます。
- 新たな地場産物納入体制を確立**します。(下記参照)

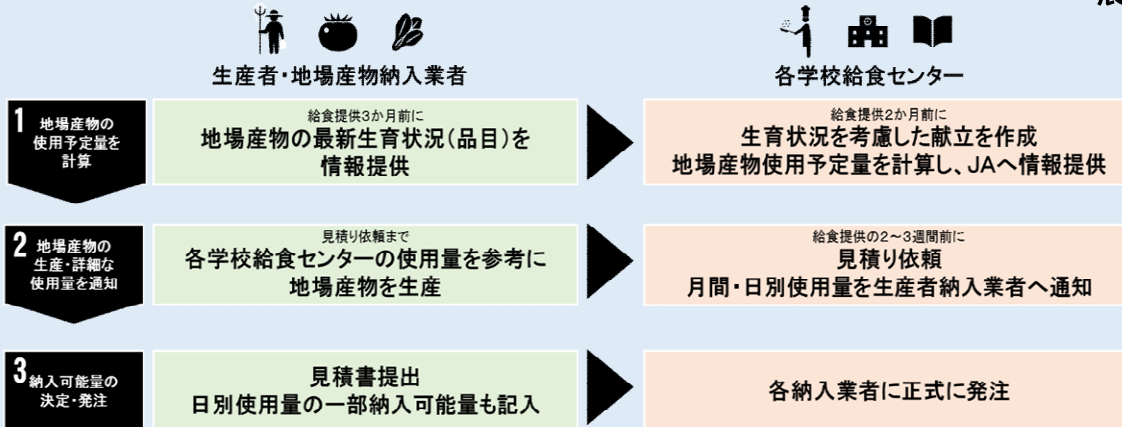
3 生産者と学校給食関係者の話し合いの場をつくります。




-  **つくば市学校給食地産地消推進会議を定例化**します。
- 生産者の圃場訪問を定期的に企画し、給食センター職員と生産者の交流の場を設けます。
- 各学校給食センターにおいて生産者の試食会を積極的に実施し、学校給食への理解促進に努めます。
-  つくば市学校給食地産地消推進会議に参加し、学校給食の現状を把握し、納入体制の改善等の課題解決に努めます。
- 圃場等において、学校給食関係者に対し、地場産物や生産に関する情報提供を行います。

4 地産地消と連携した食育を推進します。

-  **生産者による食育授業**を企画し、自然に感謝し、郷土を愛する心を育てるとともに、子どもたちへ地元農産物に関する理解を促進します。
- 給食だより等において、地場産物情報の発信を積極的に行います。
-  学校での食育授業に参加し、地場産物や生産について、子どもたちに広く伝えていきます。
- 圃場等において、**生きた教材としての農産物を触れる体験学習**の実施に協力します。

農 食育授業が実施可能な生産者や生産グループの情報提供を学校給食関係者に対して行います。



-  健康教育課・給食センター
-  生産者・JA
-  農 農業政策課

